

クマの出没を防ぎましょう

地域全体で取り組むクマを引き寄せない環境づくり

秋から冬にかけて、クマは冬眠に備えて大量のエサを求めて人里近くまで活発に移動します

庭先の「放置果実」や畑の「収穫残さ」などの匂いがクマを引き寄せる要因になります

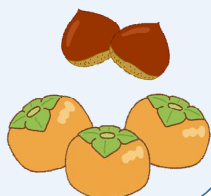


家庭・農地で今すぐできる2大対策

対策1 柿や栗の実の早めの収穫

放置された柿の実はクマの大好物

- ・利用しない果実はすべて残さず収穫
- ・収穫しない木は伐採を検討
- ・落ちた実は埋めるか回収して処分



対策2 畑の「収穫残さ」の徹底除去

野菜くずの放置はクマを呼び寄せます

- ・収穫後の残さは畑に放置しない
- ・生ごみとして適切に処分



クマに出会わないために

①音で存在を知らせる

薄暗い時間帯の外出や山へ行くときは、ラジオや鈴の音で鉢合わせを防ぎましょう。

②クマの出没情報を調べる

外出時に目的地周辺のクマ出没情報を国や県のホームページなどで確認しましょう。

クマに出会ってしまったら

①落ち着いて後退

走って逃げると追いかけてきます。クマを見ながらゆっくり後退しましょう。

②刺激を与えない

大声を上げたり、物を投げたりせず静かに行動しましょう。

【クマを目撃・足跡やふんなどの痕跡を発見した場合の連絡先】

渋川市役所 農政部 農林課

渋川警察署

電話 0279-22-2953(直通)

電話 0279-22-2111(代表)

電話 0279-23-0110

群馬県の堅果類(ドングリ)の豊凶調査について

野生動物にとって、堅果類(ドングリ)の実は、秋から冬にかけての重要なエサとなっています。
このため、野生動物の行動は堅果類の実りに影響を受け、実りの悪い年の秋期にエサを求め、人里等に出没する可能性が高まると言われています。

群馬県では堅果類の豊凶調査を毎年実施し、クマの出没予測等に活用しています。

令和8年度の調査結果は、「不作」であるため、クマがエサを求めて行動範囲が広がる可能性があります。突発的なクマとの遭遇を避けるためにも表面に記載の対策にご協力をお願いします。

また、国・県・市がそれぞれホームページでクマに関する情報や対策等について公表しています。
以下にそれぞれの2次元コードを掲載しますので、ご活用ください。

渋川市

「クマの出没にご注意ください」

渋川市公式ホームページの
2次元コード



群馬県

「ツキノワグマ情報について」

群馬県公式ホームページの
2次元コード



環境省

「国民向けのクマに関する情報」

環境省公式ホームページの
2次元コード



群馬県

「クマ出没マップ」

群馬県公式ホームページ内の
外部リンクの2次元コード



渋川市公式LINEでは、イベントの情報、市政情報のほか野生動物の出没情報なども発信しています。

友だち追加の方法① ID検索

LINEホーム画面の友だち追加から「検索」を選択し、IDで検索欄に「@shibukawacity」を入力してください。表示される「追加」ボタンを押すことで登録されます。

友だち追加の方法② 2次元コード読み取り

スマートフォンの2次元コード読み取り機能を使用して右の2次元コードを読み取ることで、登録画面が表示されます。



(補足) 渋川市公式LINEのご利用にはLINEアプリのダウンロードと友だち追加が必要です。